

台風19号の対応

今後の防災への課題は

瀬 順弘 (公明党)



問 多摩川や残堀川は、氾濫や洪水等の恐れがある河川です。今回の台風時も、多くの方が川の水位情報を得ようとしていました。水位の観測所やライブカメラの増設を、関係機関に要望できないでしょうか。また、避難所となった小中学校の校庭は、駐車禁止でした。避難準備情報が出た時点で、車で避難所に行けるように、国や都、民間の施設と協定を結ぶなどして、あらかじめ駐車場を確保しておくべきと考えますが、見解を伺います。

答 水位計やライブカメラは、水位情報や河川の状況を把握する有効な手段であり、今後増設を国へ要望していきたい。校庭への車の乗り入れは、緊急車両等の支障となるため禁止しています。しかし、今回は車で避難する方が多かったため、市所有の駐車場に隣接する中学校を車で避難できる避難所として開設しました。駐車場の確保については、事業者等との協定締結に向け、他の自治体の状況も含め検討していきたい。

一般質問項目

①台風19号の対応と防災について

オストメイト支援策

周知啓発と有事の備えの充実を

松本 あきひろ (たちかわ自民党・安進会)



問 誰もが事故や病気で、オストメイト当事者となる可能性があります。オストメイトの支援策の現状をお示しください。オストメイトの支援で大事なものは、まず知っていただくこと、さらには有事に備えることだと考えますが、市ではどのような課題があると認識しているのか伺います。また、一人でも多くの方に知っていただけるよう一層の周知啓発を行うとともに、オストメイト用の仮設トイレを、各避難所へ備えていただくよう要望します。

答 オストメイトの方々への支援として、日常生活用具費助成によりストマ用装具の給付を行っています。また、令和元年5月から、市内7カ所で災害時に備え装具を保管する体制を整備しています。さらなる周知啓発のほか、装具の給付上限超過部分や非常用の保管分が自己負担となる点、また災害時の適切な支援等が課題であり、他の給付事業とのバランスや、近隣他市の状況等を踏まえ、今後検討していきたい。

一般質問項目

①産業を基盤としたまちづくりについて ②防災について ③オストメイト支援策について ④富士見町地域周辺の問題について



台風で浸水した西砂庭球場

アピアランスケア

手術や抗がん剤等のがん治療により起きる、傷跡や脱毛等の外見の変化による苦痛を、姿を整えたり、医学的・心理社会的支援を用いて軽減するケア。



令和元年9月10日発行
がん検診特集号

特別支援教育

安心して学べる学校体制を

若木 早苗 (日本共産党)



問 特別支援学級での指導において、不適切と思われる事例が散見されることから、改善を求める要望が出ています。これまでも教員や支援員の障害への理解や専門性、スキルの向上、そして体制の充実を求めてきましたが、本市の特別支援教育の課題について伺います。子どもたちへの威圧的・暴力的な対応は決して許されません。先生方が現場で、子どもたちの行動に困惑せず、適切な対応がとれるよう対応力の向上と体制の整備が必要ではないか。

答 教員の世代交代により、特別支援教育の経験のない教員が指導にあたらざるを得ない現状があり、指導力や対応力の不足が課題ととらえています。専門研修とともに現場での実践経験を教員全体で共有することで、指導力、対応力の向上を図っていききたい。引き続き、特別支援学級臨時指導員の基準に基づく配置と必要に応じた加配を行うことで、学級運営を支援し、安心して学ぶ環境を整えていききたい。

一般質問項目

①子ども達が安心して学べる学校の体制について ②人権尊重のまちづくりについて ③米軍横田基地周辺住民の安心・安全と健康を守るために

九小の安全対策

南門と周辺の道路の照明改善を

木原 宏 (たちかわ自民党・安進会)



問 第九小学校の南門付近には、照明や街灯がないため、日没が早い時期の下校時は、低学年の児童は暗くて門が開けられず、先生が門を開けてあげると聞きました。また、この門を出て学校を周回する道路の街路灯も昔ながらの街路灯で、小さくて十分な明るさがなく、大変暗い状況です。不審者情報も寄せられており、安全対策をしっかりと行う必要があると考えます。照明を交換して明るくするだけでも、効果があるのではないかと。

答 第九小学校の南門付近が暗く、危険な状況であることは、現地を確認し把握しました。今後、照明設置に向け、具体的な対応を図っていきます。また、南門を出た学校周辺の道路については、約100メートルの間に街路灯が2灯しかないため、日没後は暗い状況です。現在、担当部署が街路灯のLED化を進めていることから、LED化後の明るさを見た上で、さらなる対応の必要性を検討していきます。

一般質問項目

①砂川地域から寄せられた諸課題について

アピアランスケア

ホームページで周知を

高口 靖彦 (公明党)



問 アピアランスケア、がん患者の外見ケアに関して、身近な場所で相談できる体制を作ることはいまできませんか。市ホームページ上のがんに関する情報のページに、アピアランスケアという言葉が掲載し、国立がん研究センターなどにリンクを貼って詳しい情報を得られるようにしていただきたいが、見解を。都内では、2区で助成制度を開始し、医療用ウィッグや胸部補正具の購入費の一部を助成しています。本市でも、実施に向けて検討できないか。

答 市民からアピアランスケアについて相談があった際には、国立がん研究センターなど、アピアランス支援の専門相談機関を紹介していきたいと考えています。また、アピアランスケアや相談先をどのように周知していくのかについては、今後検討していきたい。助成を実施している区があることは把握しており、先進的な取り組みをしている自治体の情報を収集し、研究していきたいと考えています。

一般質問項目

①病気や介護と向き合う人のための教育について ②スポーツ環境について ③子どもたちの教育について

胃がん検診

内視鏡検査も可能にすべき

永元 須摩子 (日本共産党)



問 本市の胃がん検診は、現在行われている検診車による検診の回数が段階的に減り、今後は自分で検診ができる病院を予約して申し込むようになります。現在の胃がん検診はX線検査ですが、バリウムを飲むことが苦手な方等検査を受けられない方も多くいます。内視鏡検査のほうが精度も高く、結果も早くわかるので望ましいと考えます。自分で病院を選ぶことになるのであれば、今後は内視鏡検査を選ぶこともできるようになるということですか。

答 胃内視鏡検査は、平成28年の国の指針改訂により、自治体の実施する胃がん検診の実施方法の一つに位置づけられました。本市でも、今年度設置した立川市がん検診あり方検討協議会から、現在集団検診方式で実施している胃X線検査を、市内医療機関での個別検診に移行するとともに、内視鏡検査導入を図るべきとの提言が10月に出されました。今後提言に沿い、がん検診の充実を図っていきます。

一般質問項目

①誰もが安心して医療などが受けられる為に ②子どもたちへの学習や支援策と課題について